

令和7年10月19日執行

山都町議会議員一般選挙公報

山都町選挙管理委員会

誰もが安心して住める
活気と魅力ある山都町に！



ふじかわ
藤川たみ

皆様のご支援により2期8年間、お一人おひとりの貴重なご意見を受け町政に反映させていただくことができましたことに心より感謝申し上げます。特に上益城消防署蘇陽出張所の廃止問題については、2121名の存続を訴える署名を集め、みごとに存続させることができました。

人を大切に「誰もが安心して住める活気と魅力ある町づくり」をめざして、町民の皆様の声に真剣に耳を傾け町政に臨んで参ります。特に次のことに重点的に取り組んでまいります。

- 買い物難民解消に向け、スーパー等の誘致(蘇陽地区)
- 農林業被害防止のため、命の危険と隣り合わせの捕獲隊の有害鳥獣捕獲助成金の非課税化
- 今もなお交通の不便を強いられている県道河内矢部線の改良促進
- 蘇陽病院跡地の利活用

山都町を未来につなぐ



人口減少を止めて
これからの町の姿を住民の皆さんと
共に描いていく政治を目指します！



まはら誠

人口減少を抑えるために今すぐ取り組みたい2つの政策

① 住まい 住宅政策

- 🏠 公営住宅の充実
- 🏠 宅地の造成販売
- 🏠 優良な空家の利活用
- 🏠 民間賃貸住宅事業支援

② 仕事 産業振興政策

- 🏞️ 山都の生産品 販路拡大
- 🌲 農林業支援の拡充
- 👤 民間事業の下支え
- 🏞️ 観光振興 民間連携強化

まはら誠
はこう考えます

2期8年の経験を活かし山都のためにこれからも！

人口減ストップ！あきらめない！ 山都町民ファースト

語り合い、実行する。山都町の未来のために。



たにやま
徳彦

- 空き家・空き店舗対策**
増え続ける空き家や空き店舗を地域資源として再活用し、移住・定住につなげます。農泊や着地型観光などを通じて関係人口を増やし、地域経済の循環を生み出します。
- 世代を超えた交流の促進**
経験豊かなシニア世代の知恵や技術を次の世代へ継承します。子どもから高齢者までが自然に交流できる機会をつくり、地域の絆を深めます。
- 耕作放棄地の抑制**
農福連携や農地バンクの活用を進め、耕作放棄地を減らします。農業の持続と地域の活力を守るため、地目の見直しなど現実的な対策を実行します。

- ① まとちょうのみんなが
- ② にちじょう幸せを感じられる
- ③ たのしい町にしたい



宅地造成、整備
若者住宅 アパートの建設
企業誘致と地元企業の育成
この町に生まれ この町が好きだから
頑張ります



やにた
秀典

この度、山都町議会議員一般選挙において、初めての立候補を決意しました。矢部高等学校卒業後、清和村役場に入庁し24年間、山都町役場に18年間、元熊本清和農協との連携した農畜産振興、地域防災、財政運営、合併協議会事務局(農地部会)、水道事業等、微力ではありましたが地域住民の発展のため尽力してきました。

今後、山都町の喫緊の課題は、急速な人口減少と少子高齢化です。学校の統廃合、病院・公共交通の縮小、商店街の廃業及び農林業の担い手不足等、町を支えてきた「人」と「しくみ」が静かに失われようとしています。

この少子高齢化社会の中で、中山間地域のあるべき姿をどうつくっていくのか。地域住民の皆さま方と十分に議論し、「少ない人口でも、豊かに生きられる町づくり」、「暮らしの質で勝負する町づくり」、「山の都に住み続けたい町づくり」を目指していこうではありませんか。



増田たきみのり
昭無所属
昭和36年5月3日
外才

命・人権を大切に 自然と共に生きる山都町



税金を暮らしに生かす町政を！



西田ゆきこ 65才
・清々堂 熊本大学教育学部卒
・元小学校教諭
・障がい児・者支援団体事務局

だれもが 住みよいまちづくり

～山都町の現在と未来への課題から～

現在の様々な声や問題

山都町の現在の課題から
未来へ向けた取り組み

店がなくなり、
買い物が困難

有害鳥獣による
被害が深刻

これからの保育
が心配

通院の交通手段
が不便

みなさまとの対話を
大切にし、よりよい解決
に向け尽力します。

高齢化が進み、
道草刈りも今後
できるか...

山都町の抱える課題は、少子高齢化に起因するものが多くあります。近年、過疎化が進む地方で、重要視されているのが、「関係人口」の創出です。定住人口を増やす取り組みを根底に置きながらも、観光資源や農林業のさらなる魅力発信を行い、交流人口を増やす取り組み。そして、定住しなくても多様な形で都市部と山都町を結びつけ地域産業の活性化を図る「関係人口」創出の取り組み。私はこのような取り組みを今後の活動の基盤に据えます。



ごとう
後藤せいき
元山都町役場建設課長

希望と安心が持てるまちづくり

少子高齢化が進む山都町において、高齢者が10年後、20年後に安心して暮らせるまちづくり。また、子育て世代が安心して暮らせるまちづくり。そして若い人の流出を防ぎ、定住推進と空き家対策を進め、町を活性化させる為に、皆さん一人一人の意見を聞き、十分に討議討論を重ね、未来への希望と安心が持てるまちづくりを目指すために、今回、町議会議員選挙に立候補致しました。

山都町がこれからも輝き続ける町であるために

- ・少子高齢化対策
- ・防災対策の充実
- ・農林業対策
- ・観光集客により利益を生む山都町
- ・交通網、インフラ整備



さかい
きみお
昭和三十九年五月十一日生まれ
(六十一歳)

令和7年10月19日執行

山都町議会議員一般選挙公報

山都町選挙管理委員会

よりよい山都町をめざし、挑戦！
農林業：農業基盤整備の推進と農林業の振興
商工・観光：商店街の活性化、観光の振興
**福祉・教育：高齢者・障害者が安心して暮らせる環境づくり、
 子供たちが将来に希望が持てる教育の充実**
**有害獣から田畑を守る
 捕獲強化の推進**
**未来の為に、明日を築く
 山都町のみんなのために、
 動いていこう。**



東ひろあき

稼げる農業の実現

農業がきちんと利益を生み、「子や孫に継がせたい」と思える産業に変えていきます。

多様な学びの提供

学校の統廃合や施設維持の話だけではなく、「どんな教育を子どもに届けるか」という本質に向き合います。

公民連携で進めるまちづくり

行政だけに頼る時代は終わりました。地域が自ら種をまき、続けられる仕組みを築きます。

梶原こうすけ (48歳) プロフィール

- ・1976年 農家の長男として生まれる
- ・山都町鶴ヶ田在住
- ・朝日西部小学校・清和中学校卒業
- ・熊本県立済々黌高校卒業 / 九州大学法学部卒業
- ・元熊本県庁職員 (子ども家庭福祉課などを経験)
- ・Uターン後、家業を継承・梶原耕藝 代表
- ・R5年度熊本県農業コンクール新人王部門優良賞受賞
- ・現在、農業法人「GREEN TIDE合同会社」代表社員
- ・3兄弟の父として、子育てに全力の日々



梶原こうすけ

学べる、暮らせる、働ける山都へ。

すべての人が住みたい町、 住み続けられる町づくり

- 一 農林業の活性化
集落営農 / 販売力の強化
- 二 商工福祉事業の
経済の町内循環
経済の町内循環
経済の町内循環
- 三 若者の定住・移住
教育環境は環境
の整備
- 四 活気あふれる高齢者
自分に見合う
生き方の創出
- 五 自主防災組織の強化
地域の連絡網、
拠点間の連携



坂本幸誠
こうせい



はんがい政俊

少子化対策

緊急を要する問題である 矢部高校を活性化し卒業後山都町に残ってもらう 白パイに特化したクラブ活動をPRし生徒を募集する有機農業コースを新設して生徒数確保に努め卒業後の定住を進める自立出来るまでの資金援助親元就農を予算化する新規就農を志す人には高齢の為生産の維持管理が出来ない農作物を引き継いでもらい一年目から、農業収入があがるようなら、移住者も増えるとかんがえる

歴史文化課の必要性

国宝通潤橋にもなりまだ山都町には、隠れた宝が残っている、その宝を山都町で保管維持が出来ればとめて頂きたい、学芸員としての本来の仕事をやって欲しい 山都町には浜の館の出土品が今は県立美術館の倉庫に眠っているこれは山都町の宝であり、観光客にもPRし山都町の歴史も楽しんで頂きたい

この選挙公報は、掲載を申請した候補者の原稿を写真にとって掲載しています。
 掲載の順番は、くじで決めたものです。

投票日

10月19日(日)

投票時間

午前7時から午後6時まで